

「独立行政法人労働安全衛生総合研究所契約監視委員会」の審議概要について

平成24年度第3回契約監視委員会が、平成25年3月25日（月）に、独立行政法人労働者健康福祉機構本部18階会議室において開催されましたので、その審議概要についてお知らせします。

平成24年度第3回独立行政法人労働安全衛生総合研究所契約監視委員会（概要）

開催日及び場所	平成25年3月25日（月）（独）労働者健康福祉機構本部18階会議室	
委員（敬称略）	田極春美（三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）主任研究員） 竹内啓博（公認会計士） 山本勲（慶応義塾大学商学部准教授） 浅田和哉（監事） 永井道人（監事）（欠席）	
審議対象	○平成24年12月～平成25年3月に入札・契約締結した案件 ・一者応札・応募となった契約	
議 事	○点検・見直しの審議について ・委員会における審議方法 ・労働安全衛生総合研究所の契約状況の推移の説明 ・平成24年12月～平成25年3月に入札・契約締結した案件のうち、一者応札・応募となった案件（14件）について	
	委員からの意見・質問に対する回答等	
	○平成24年12月から平成25年3月に入札・契約締結した一者応札・応募案件について	
	No.1「コンクリート構造物に埋め込まれたボルトインサートとボルトボックスに関する強度試験の委託」について、事前の参考見積は2社からとっているようだが、1者応札になった要因は何か。 1者応札になってしまう可能性があるならば、さらに多くの業者から見積を取った方がよいのではないか。	見積書を提出した2社には入札の案内もしているが、結果として、そのうちの1社は辞退した。辞退の理由は明らかでないが、本件については短期間で試験結果を出す必要があったため、入札公告から履行期限が比較的短くなってしまうことなどが影響していると思われる。
	No.3「エリオニクス社製フィールドエミッション走査型電子顕微鏡電子銃チップ交換及び調整作業」について、昨年度より契約金額が高くなっているが、その要因は何か。	事前に徴した参考見積によると、昨年度との比較で電子銃チップの単価が上がっており、これが要因である。当該業者に聞いたところ、材料費高騰による原価計算の見直しによるものとのことであった。
No.5「データロガー付携帯型発汗計」について、「重さが350g以下」、「寸法がW80×H40×D140mm以内」等の数値の	今後幅広く入札に参加してもらえよう、本件のような場合には「同等程度」とする等仕様書の記載には配慮し	

	<p>指定があるが、どうしてもそうでなければならぬということではなければ、同等程度とすべきではないか。</p>	<p>てまいりたい。</p>
	<p>No.7「ディープフリーザー (No.2)」と No.8「ディープフリーザー (No.3)」を一緒に調達しなかった理由は何か。</p>	<p>これらは大きさが異なるものであり、業者によっても扱うサイズが異なるので一緒にすると、かえって参加を制限することになりかねないため、別々に調達することとしたものである。</p>
	<p>No.13「平成25年度インダストリアルヘルスの編集及び印刷」について、なぜ他の業者が参入しようとならないのか。 他の業者に参加してもらえよう、例えば大学あたりから類似案件をヒアリングしてはどうか。</p>	<p>外国語の学術誌なので、普通の印刷会社では入りづらいと考えられる。 研究員を通じ他機関の例も聞いているが、なかなか他の業者の参加につながらない。</p>
	<p>No.13「平成25年度インダストリアルヘルスの編集及び印刷」について、契約単価が上がった理由は何か。</p>	<p>当該業務の中に「オンライン出版」があり、今まではPDF形式のファイルをそのまま当研究所ホームページに公開するのみであったが、今回から外部の総合学術情報サイト（J-STAGE）で公開するため、XMLファイルを作成することとなった。XMLファイルにすると、参考文献にリンクが可能であるなど読者の利便性向上にはつながるが、作成の手間がかかるため、コストは増えてしまう。</p>